

令和7年度第3回鎌倉市健康づくり計画推進委員会 議事録

- 1 日 時 令和8年2月4日(水) 18:00~19:30
- 2 場 所 鎌倉商工会議所 102 会議室
- 3 傍聴者 なし
- 4 出席者 鎌倉市健康づくり計画推進委員 計13名
古屋博行氏(委員長)、北岡英子氏(副委員長)、安齊勘一郎氏、池田威知朗氏、
今井一登氏、江口達也氏、岡田純子氏、桂田勉氏、勝畑尚幸氏、加藤順子氏、
河内公恵氏、松村夕起子氏、山岡明美氏
(欠席:齋藤正朗氏、日比野美香氏)
スーパーバイザー 中村丁次氏
事務局(市民健康課)、サーベイリサーチセンター担当者

5 議事内容

古屋委員長:ただいまより、令和7年度第3回健康づくり・食育推進委員会を開催する。議論に入る前に、事務局から配布資料の説明をお願いしたい。

事務局:まず資料の確認をさせていただく。事前に郵便にてお送りしたもので

- ・次第
- ・委員名簿
- ・資料1 令和7年度第2回鎌倉市健康づくり・食育推進委員会 意見まとめ
- ・資料2 概要版
- ・資料3 かまくら食と健康プラン案

である。不足があれば教えてほしい。

【議題1】概要版について

古屋委員長:概要版の説明を、事務局からお願いしたい。

事務局:概要版はA4サイズの観音開き・全8ページの冊子となる。

前回の委員会で、資料1にまとめたご意見をいただき、修正を行った。対応区分はA:概要版に反映させるもの、B:意見の趣旨がすでに概要版に反映されているもの、C:今後計画に基づく個別施策の実施により対応が可能となるもの、D:概要版に反映できないもの又は参考意見とするものの4つにわけている。

資料1のNo.1~11について順番にご説明させていただく。

No.1(概要版2ページ)

基本目標2の部分である。

「ライフコースアプローチ」という表現は市民にわかりにくいと思うので、注釈を記載した方がよい。とのご意見で、対応分類は A、注釈を掲載させていただく。

No.2 (概要版 2、3 ページ)

分野目標 2-1

食生活栄養の分野目標の文言について、「私が選んで、『食べた』もので作られる」と言葉を追加して表現に変えてはどうか。とのご意見で、対応分類は A、ご提案のとおり修正をさせていただきます。

No.3 (概要版 5 ページ)

子ども II 期、理想の体格のコラムについて

「適正体重：115 以上 145 未満」とあるが、誤解を招くので「適正体重のローレル指数」という表現に変えてはどうか。とのご意見で、対応分類は A、真上に「ローレル指数」と記載があるので、「適正体重の指数：115 以上 145 未満」と修正させていただきます。

No.4 (概要版 7 ページ)

高年期

全体目標で「生きがいを知ろう」とあるが、それに紐づく内容に触れられていない。とのご意見だが、対応区分は D とさせていただきます。高年期の全体目標は、計画書のライフステージ別から取っているが、「見つけよう！生きがい」と「知ろう！フレイル予防」の二つのセットである。ご意見から分かりにくくなっていると思われるため、読点で区切りたいと思う。概要版では、生きがいの部分にあまり触れられていないが、スペースの問題から、フレイル予防のところでの言及に留めたい。

No.5 (概要版 4 ページ)

子ども I 期

9～12 歳はゴールデンエイジと言われており、この時期に運動習慣を付けることが大切と言われている。中学生になると、運動する子としない子が二極化することが課題。スポーツだけでなく、外遊びのような日常的な運動を取り入れていくことが大切と考える。とのご意見である。対応区分は B で、こどもの運動については大変重要と考えている。採用できるアンケート結果が「からだを動かすことの好き嫌い」のみだったため、そちらを掲載しているが、説明などで補足した。また、「こんなこともやってみよう」でも外遊びを記載したところだが、こちらの回答について先日幹事会にて意見があり、追加でご説明をさせていただきたい。こんなこともやってみようの中で「天気がいい日は外で遊ぼう」と記載していたが、近年夏場は熱中症警報アラート発令により外遊びを勧めない日も多いことから表記を見直してはどうかという意見があった。そのため、「からだを動かして遊ぼう」に変更させてい

ただきたい。

No.6 及び 7 (概要版 7 ページ)

高年期

高齢者は意外と栄養失調状態である。粗食が良いという概念が刷り込まれていて、たんぱく質不足になっていることも多い。やせが問題だと意外と知られていない、というご意見と、No.7、フレイル予防は全体摂取量が大切でバランスの良い食事をしっかり摂ることが大切である、というご意見をいただいた。こちら対応区分をBとし、フレイル予防の部分と、「こんなこともやってみよう」でバランスの良い食事や体重を減らさないようにといった記載をし、このままとさせていただく。

No.8 (概要版 7 ページ)

高年期

スペースの問題もあると思うが、歯周病については高年期より早い段階で対応が必要のため、もっと若い世代に伝えられるとよい。高年期であれば、オーラルフレイルの問題の方に触れられるとよい、というご意見をいただいた。対応区分はAとし、青壮年期の「こんなこともやってみよう！」に歯についての項目を追加する。また、高年期の歯の部分歯周病予防からオーラルフレイルについての内容に変更する。

No.9 (概要版 8 ページ)

鎌倉市の取りくみ

鎌倉市でウォーキングアプリをやっていたと思う。裏面の QR コードで紹介してはどうか。食事やこころの内容が中心になっているので運動の部分もあった方がよいと思う。というご意見をいただいた。現在実施している ICT 健康づくり事業（ケンコム）ですが、もともと重点事業として5年間の期間を決めて行っていたため、今年度で事業終了となるので、対応区分はDとさせていただく。

No.10 (概要版 8 ページ)

鎌倉市の取りくみ

市の取組について、ウォーキングマップを紹介していたと思うが掲載できないか、というご意見をいただいた。対応区分はAで、ウォーキングに使ってもらうための「健康かまくらマップ」を作成し、ホームページでも公開しているので、スペースを調整し、追加した。

また、追加で修正する箇所として、

概要版 5 ページ

理想の体格／もっとやせたい（女性のみ）

書き方だが、タイトルに（女性のみ）と大きく出てしまっていることに違和感があり、タイトルの（女性のみ）は削除し、下の数値のところを2024年（女性）と記載する形に修正をさせていただく。

最後に表紙について

和暦、西暦の表記については、すべて和暦→西暦という順番で令和8年（2026年）といった表記に統一する。

表紙のイラストに多様性のある町をイメージさせるイラストを入れたほうがよいのではないかとのご意見もいただいた。歯ブラシを持っている男の子を左利きに変更、車いすの方を追加、男女ペアだけでなくヨガのイラストで同性ペアを追加といった修正を行った。

今後の概要版の活用についてだが、1,000部印刷予定である。より多くの方に手にとってみていただけるようにしたいと考えており、必要であれば都度増刷して対応をする予定。委員の皆さまの事業やイベントの中で配布ができるのであれば、お渡し可能なので、ぜひお声がけいただきたい。

（質疑・応答）

古屋委員長：事務局からの説明について、委員から意見はあるか。

中村先生：表紙のイラストの白飯が山盛りであることに違和感がある。現代ではこんなにたくさん白米を食べる人はあまりいないのではないか。

事務局：イラストが修正可能かどうか確認したいと思う。

中村氏：「主食偏重」から「おかずもしっかり食べましょう」という考え方に変わり、バランスの取れた食事を推進してきている。食生活が欧米化しても、エネルギー摂取量が変わらないことで、日本人の健康維持につながっている。

事務局：承知した。イラストについては、委託業者への確認になるので、後日の回答になる。

古屋委員長：オーラルフレイルの内容も追加になったが、何か意見はあるか。

勝畑委員：少々わかりにくい箇所はあるが、スペースの都合で仕方のない部分もあるのではないかとと思われる。

古屋委員長：今後の予定はどうか。

事務局：概要版は今年度中に印刷し、4月1日以降に配布していく。あわせてホームページへの掲載も行う。

勝畑委員：概要版も計画同様に12年間変わらないのか。

事務局：概要版は、もう少し短い期間で使用するものと考えて作成している。

【議題2】鎌倉市健康づくり・食育推進計画最終案について

事務局：前回会議で提示させていただいた計画書から、内容をいくつか修正した箇所があるため説明させていただく。

大きなところでは、計画名の（）の中の健康づくり計画と食育推進計画の順番を入れ替え、「第2期鎌倉市健康づくり計画・第4期鎌倉食育推進計画」とした。
なお、「かまくら食と健康プラン」は、語呂の良さもあり、そのままとしている。

目次の最後に、数値についての注釈を追加した。

パーセント表記の場合、小数点第2位を四捨五入していることから、合計等が合わない部分が多数あったためである。

また、こちらの委員会に先立って行われた幹事会で話題が上がったが、市ではこの4月に機構改革を予定しており、一部課名の変更がある。計画書には現行の課名が掲載されており、それをどうするか検討し、現在改定中の他の計画との整合性から、新たな課名を掲載することとした。計画書全体にかかわることなので、この部分にその旨を記載する。

16 ページ、

タイトルだが、先日パブコメと併せて実施した庁内意見募集において、「第2章 鎌倉市の現状と課題」の「課題」の部分が小タイトルには入っておらず、どこに書かれているか明確でないといった意見があった。このため、タイトルを「これまでの取組みの成果」から、「これまでの取組みの成果と課題」と変更した。

32 ページ、

「評価指標と目標値」のうちがん検診受診率について、算出方法を見直し、数字が変更になっている。

こちらについては、現状値と目標値がかなり乖離をしている状況である。ただ、市が把握している現状値は市検診のもののみであり、それ以外で受診されているものは入っていない。今後、検診のDX化が進めば、市検診以外の受診率の把握が可能となり、この部分の数値も上がってくる。長い計画期間の中では、そういった数値を提示することが可能になるのではと考えている。

70 ページ、

歯・口腔のコラムだが、概要版の説明でも触れたとおり、前回の委員会で概要版にオーラルフレイルについても記載があった方がよいというご意見が出たことを踏まえ、本編にも追加することとした。コラム28の歯周病についてのコラムを少しシンプルにし、コラム29を新たに追加した。

78 ページ、

先ほどの概要版の説明でもあったが、幹事会で意見があった部分として、こども I 期の「3 身体活動・運動」の「一人ひとりができること」の「天気がいい日は外で遊ぼう」を「からだを動かして遊ぼう」に変更する。

その他、細かい文言や誤字脱字の修正をしている。

今回のものが最終案となるので、何かお気づきの点があれば、ぜひご意見いただきたい。

(質疑・応答)

古屋委員長：事務局からの説明について、委員から意見、質問などはあるか。

山岡委員：57 ページの「思春期前講演会」という名称は間違いないか。

事務局：この名称で実施しているものである。

山岡委員：67 ページの「むし歯」という字が、ここの部分だけ「虫歯」と漢字になっている。

事務局：ひらがな表記に統一したい。

古屋委員長：他に意見はあるか。

北岡副委員長：今から変更が可能かわからないが、例えば 37 ページの各ライフステージの色が概要版と合っていない。

事務局：調整できるか検討する。

古屋委員長：この計画についても、4 月以降にホームページ等に掲載されるのか。

事務局：概要版同様に掲載していく。

【議題 3】 その他

事務局：計画が完成に近づいてきたが、今後、この計画をどのように推進していくかが大切である。市でも周知していくが、各委員でもぜひ協力してほしい。保健師と連携して実施することも含めて、検討してほしい。

古屋委員長：各委員から、活動の中で協力できること、市民の立場でできることがあれば、教えてほしい。

安齊委員：コロナ前は、体験農業とけんちん汁の試食のイベントを行っていたが、実施できる畑がなくなってしまった。親子を対象にしており、自分で種まきなどを行うと、嫌いなものも食べられるということにつながって良い企画だった。今後できる場所がないかあたってみよと思う。収穫まつりでのブース設置、情報提供もよいと思う。

池田委員：小学生を対象にして、ワカメの種付けや、さざえの放流、海の環境について考えてもらう授業などを行っている。楽しみながら学んでもらうことが目的。ワカメは取れる

時と取れない時があり、今年腰越はワカメが全滅してしまった。

今井委員：医師会では、今後、湘南記念病院が健診業務を行わなくなることで、どのようにしていくかを検討している。健診をみなが受けられるように何とかしていきたい。各医院で予防接種や健診を受けに来た人に、この計画を周知していけるとよいのではないかと考えた。

江口委員：市内体育館でのイベントや、スポーツ推進委員による各種イベント、地区スポーツ振興会による市民運動会などのイベントを行っている。そのようなイベントの場を活用して、計画を周知していくとよいと考える。また、社会福祉協議会にも所属しており、健康づくり・介護予防・フレイル予防の講座や、年1回各センターで実施するフェスティバルでの啓発も行うことができる。令和8年度から、多世代交流の事業を充実してやっていく。サロンやカフェで、子育て中の方を対象にして、保健師や助産師による講話ができるとよいのではないかと考えている。市民健康課、医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携したいので、協力をお願いしたい。

岡田委員：栄養士として、40から50歳代の女性にコンサルティングをしているが、たんぱく質が不足している傾向にあると感じている。また、ウォーキングやランニングのイベントの応援もしており、興味をもつ人が増えてきている。こころの健康という面で、マインドフルネスや瞑想などを取り入れるのもよいかと思った。

樫田委員：労働安全衛生においては、転倒災害やメンタルヘルスが年々増えていると労働基準監督署からも言われているので、何か手を打つ必要があると感じている。所属の会社でも、いろいろな企業と連携して、睡眠など複数のテーマでセミナーを行っている。医療費の高騰は社内でも課題となっている。概要版にある市の取組を、社内でも取り入れることができるとよいと思う。ウォーキングイベントなどを一緒にできるとよい。

加藤委員：管理栄養士として特定保健指導を実施している。先日の健診学会で、生活習慣の改善において弊害となるのは仕事であるというアンケート結果があった。無理なく生活に取り込めるような提案ができるとよいと思った。また、生活習慣改善の中では睡眠が一番取り組みやすいという話もある。寝る前にスマホを見ないようにするという提案をしたら、よい反応があった。普段は、中学生と小学生の母親で、子どもたちからは「スベ120」という言葉を聞いた。身長から体重を引いて120より多い方がいいという考えである。子どもからも情報を得ながら、考えていきたいと思う。

勝畑委員：ママパパカレッジでは、市民健康課と一緒に歯科相談会などを行っている。引き続き、そのようなイベントを行っていけるとよい。

河内委員：ふらっとカフェ主催の地域食堂で学生が献立提案をしている。シダックスとの連携事業で、学童を対象に食の大切さやお箸のマナーを伝えることも行っている。食品衛生協会の関係では、子ども向けの手洗い教室を依頼のあったところで実施している。綾瀬市の委託事業で親子食育料理教室も行っており、鎌倉市からも依頼があれば実施することができる。

松村委員：薬と健康フェアで骨密度測定や栄養相談などを行っており、その場で周知していきたいと思う。薬局ではよろず相談を掲げているところもあり、健康相談を受けられる体制がある。地域のイベントにも出ていきたいと思っている。学校薬剤師が子どもたちに医薬品の適正使用の話をする場で、概要版などを配布しながらそれぞれに合わせた話ができるとういと思った。

山岡委員：神奈川県健康プランを推進すると同時に、鎌倉市のプランも推進していきたいと思っている。

古屋委員長：情報発信に協力してもらえるとということで、有り難い。中村先生からもお話をお願いしたい。

中村氏：鎌倉市は健康と食の委員会を一つにするという、厚生労働省と農林水産省の横ぐしをさす、勇気のある取組をしている。基盤の違うものをどのように進めていくか、今後に期待したい。

古屋委員長：事務局から他に何かあるか。

事務局：日本生命がNDBデータをもとに分析した結果を提供してくれた。国保のデータヘルス計画とは疾病分類が異なる点がある。鎌倉市は乳がんが多いが、一人あたり医療費は抑えられており、早期発見・早期治療に結び付いている可能性が考えられる。今後、このようなデータも活用していけるとよい。

古屋委員長：がん検診の受診率を上げることは課題である。医師会にも協力してもらい、上げていけるとよい。

古屋委員長：本日の議題は以上になる。事務局から何かあるか。

事務局：計画は、市長決裁後に決定となる。次回の委員会は令和8年7月頃、計画の推進について議論することを予定している。日程調整は後日行わせてもらいたい。

古屋委員長：これで本日の委員会は終了とする。

以上